



平成 20 年 2 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 1 月 11 日

上場会社名 古野電気株式会社 上場取引所 大証一部
 コード番号 6814 URL <http://www.furuno.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古野 幸男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 井澤 亮三 TEL (0798)63 - 1017

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 2 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 3 月 1 日 ~ 平成 19 年 11 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年2月期第3四半期	69,112	9.6	6,130	44.1	6,501	47.2	3,526	30.2
19年2月期第3四半期	63,058	8.1	4,254	14.3	4,415	1.1	2,707	1.4
19年2月期	85,085	-	4,959	-	5,158	-	2,742	-

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年2月期第3四半期	111	76	-	-
19年2月期第3四半期	85	80	-	-
19年2月期	86	92	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年2月期第3四半期	90,450	42,177	46.1	1,320	90			
19年2月期第3四半期	83,315	38,769	46.0	1,215	13			
19年2月期	81,805	39,361	47.5	1,232	75			

2. 平成 20 年 2 月期の連結業績予想 (平成 19 年 3 月 1 日 ~ 平成 20 年 2 月 29 日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	93,000	9.3	6,300	27.0	6,800	31.8	3,650	33.1	115	69

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う 特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、2 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の世界経済はアメリカのサブプライムローン問題が世界的に波及したことにより、各地域とも景気の拡大ペースは緩やかな減速傾向が続きました。当社関連市場においては、船用電子機器分野では世界的な海運需要の拡大に伴い新造船の受注が大幅に増加し、石油資源開発分野の活況による作業船への需要も高水準で推移しました。プレジャーボート市場は世界的には堅調であるものの米国における需要の落ち込みがみられました。産業用電子機器分野では、PNDと呼ばれる簡易型カーナビの需要が国内でも高まるなどGPSの需要が全世界的に拡大しました。

このような状況の中、当四半期の連結売上高は船用電子機器部門が好調を維持したことにより、69,112百万円（前年同期比9.6%増）となりました。利益面では、売上総利益率は生産性の向上に努めたことにより前年同期から0.7ポイント改善し34.2%となり、売上総利益は23,668百万円（前年同期比11.9%増）となりました。一方で、販売費および一般管理費は前年同期比で3.7%の伸びに留まったため、結果として営業利益は6,130百万円（前年同期比44.1%増）、経常利益は6,501百万円（前年同期比47.2%増）、四半期純利益は3,526百万円（前年同期比30.2%増）となりました。

各部門別売上高の概況としましては、船用電子機器部門では、商船市場向け売上が全世界的に好調に推移し、衝突予防レーダーやECDIS（電子海図表示システム）などを中心に売上が拡大しました。プレジャー市場向け売上は北米では伸び悩みましたが、欧州が好調を持続し、全世界的には売上が増加しました。さらに漁業市場向け売上もスキャニングソナーを中心に増加したことから、同部門の売上高は前年同期比13.7%増の54,152百万円となりました。一方、産業用電子機器部門では、ETC車載器は売上が大幅に増加しましたが、医療用機器の販売が低調であり、GPS関連機器も競争激化により売上が伸び悩んだことから同部門の売上高は前年同期比3.1%減の14,959百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比較して8,644百万円増加し、90,450百万円となりました。これは主に現金及び預金が4,126百万円、受取手形及び売掛金が1,589百万円、たな卸資産が2,507百万円それぞれ増加したことによるものであります。負債は、前連結会計年度末と比較して5,829百万円増加し、48,273百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が5,409百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して2,815百万円増加し、42,177百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績予想に関しましては、売上、利益共に高い水準で推移しておりますが、概ね当初の計画通りであり、平成19年10月17日付の中間決算短信にて開示いたしました売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金の計上基準及び税金費用の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。影響額が僅少なものにつきましては、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、この変更に伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5.(要約)四半期連結財務諸表

(1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円,%)

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考)前期末
	(平成19年2月期 第3四半期末)	(平成20年2月期 第3四半期末)	金 額	増減率	(平成19年2月期末) 金 額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	11,478	16,273	4,794	41.8	12,146
受取手形及び売掛金	21,652	23,078	1,426	6.6	21,489
たな卸資産	22,161	23,276	1,114	5.0	20,769
その他	4,708	5,531	822	17.5	3,921
流動資産合計	60,001	68,160	8,158	13.6	58,327
固定資産					
有形固定資産	9,938	10,223	284	2.9	10,034
無形固定資産	978	1,135	156	16.0	1,039
投資その他の資産	12,396	10,931	1,464	11.8	12,404
固定資産合計	23,313	22,290	1,023	4.4	23,478
資産合計	83,315	90,450	7,134	8.6	81,805
(負債の部)					
流動負債					
支払手形及び買掛金	15,315	20,058	4,742	31.0	14,648
短期借入金	6,207	6,000	207	3.3	5,150
一年以内返済予定長期借入金	960	1,322	362	37.7	1,755
その他	7,525	8,027	502	6.7	7,113
流動負債合計	30,008	35,408	5,399	18.0	28,667
固定負債					
社債	658	394	264	40.1	526
長期借入金	3,630	2,723	906	25.0	3,131
その他	10,248	9,747	501	4.9	10,119
固定負債合計	14,536	12,865	1,671	11.5	13,776
負債合計	44,545	48,273	3,727	8.4	42,444
(純資産の部)					
株主資本					
資本金	7,534	7,534	-	-	7,534
資本剰余金	10,073	10,073	-	-	10,073
利益剰余金	19,127	22,278	3,151	16.5	19,162
自己株式	166	172	5	3.5	168
株主資本合計	36,568	39,713	3,145	8.6	36,601
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	1,374	912	461	33.6	1,484
繰延ヘッジ損益	24	0	25	101.7	42
為替換算調整勘定	376	1,049	672	178.6	769
評価・換算差額等合計	1,775	1,961	186	10.4	2,296
少数株主持分	425	501	76	17.9	463
純資産合計	38,769	42,177	3,407	8.8	39,361
負債，純資産合計	83,315	90,450	7,134	8.6	81,805

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円，%)

科 目	前年同四半期 〔平成 19 年 2 月期〕 第 3 四半期	当四半期 〔平成 20 年 2 月期〕 第 3 四半期	増 減		(参考) 前期 (平成 19 年 2 月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	63,058	69,112	6,053	9.6	85,085
売上原価	41,899	45,444	3,544	8.5	56,682
売上総利益	21,159	23,668	2,509	11.9	28,402
販売費及び一般管理費	16,904	17,537	633	3.7	23,442
営業利益	4,254	6,130	1,876	44.1	4,959
営業外収益	581	778	197	34.0	857
受取利息及び配当金	299	439	140	46.7	406
その他	281	338	57	20.5	450
営業外費用	420	408	12	2.9	658
支払利息	140	138	2	1.5	163
その他	280	269	10	3.6	495
経常利益	4,415	6,501	2,085	47.2	5,158
特別利益	66	46	19	29.4	72
特別損失	144	596	452	313.7	845
税金等調整前 四半期(当期)純利益	4,337	5,951	1,614	37.2	4,386
税金費用	1,598	2,353	755	47.3	1,591
少数株主利益	31	72	40	126.5	51
四半期(当期) 純利益	2,707	3,526	818	30.2	2,742